

経001	項 目 名	企業立地促進補助金					
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	31	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課			
年度	R3						
会計名		事業の概要					
一般会計							
款	商工費						
項	商工費						
目	商工業振興費						
(単位：千円)		<p>【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225</p> <p>【11次総の施策体系】2102</p> <p>【事業の経過及び背景】 有効求人倍率が1倍を超える状況で推移しているが、市内製造業の1人当たりの付加価値額が山陰他都市に比べ低い状況にある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 企業の立地を促進し、産業構造の高度化及び雇用機会の拡大を図る。</p> <p>【事業の内容】 ①企業立地促進補助金（通常メニュー） 対象事業：製造業、自然科学研究所、ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業など 補助金額：投資額×10%、上限200,000千円 交付条件：投資額、新規常用雇用者数及び付加価値額に要件あり</p> <p><今回補正額> ①当初8件⇒見込15件（134,402千円増額）</p>					
補正前額	330,780						
要求額	201,402						
総務部長段階査定額	134,402				その他財源の内訳		
市長段階査定額	134,402				分担金	0	
区 分					負担金	0	
財源内訳	国・県支出金				0	使用料	0
	地方債				0	手数料	0
	その他				0	財産収入	0
	一般財源				134,402	寄付金	0
	計	134,402	繰入金	0			
		贈収入	0				
		その他	0				
行財政改革課処理欄							

経002	項 目 名	布袋工業団地整備事業費					
予算書項目	企業誘致促進事業費	ページ	31	所 属 名 経済観光部 企業立地・支援課			
年度	R3						
会計名		事業の概要					
一般会計							
款	商工費						
項	商工費						
目	商工業振興費						
(単位：千円)		<p>【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225</p> <p>【11次総の施策体系】2102</p> <p>【事業の経過及び背景】 本市の分譲可能な未利用地は不足してきている。特に1ha以上の工業用地がなく、立地を希望する企業のニーズに応えることができなかった。</p> <p>【事業の目的及び効果】 企業誘致を戦略的に行うため、その受け皿となる新たな工業団地を整備することにより、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。</p> <p>【事業の内容】 造成工事（4ha）において、造成盛土の土質及び晴天の影響により、周辺地域への砂埃被害が発生。散水及び植物の播種（クローバー）により被害防止を図る。 散水：延べ72台（3,800L/日） 播種：4ha（種子80kg）</p>					
補正前額	45,019						
要求額	4,089						
総務部長段階査定額	4,089				その他財源の内訳		
市長段階査定額	4,089				分担金	0	
区 分					負担金	0	
財源内訳	国・県支出金				0	使用料	0
	地方債				0	手数料	0
	その他				0	財産収入	0
	一般財源				4,089	寄付金	0
	計	4,089	繰入金	0			
		贈収入	0				
		その他	0				
行財政改革課処理欄							

経003	項目名	SDGs未来都市推進事業費	
予算書項目	地域経済活性化促進事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名	
		経済観光部 企業立地・支援課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	商工業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	17,290		
総務部長段階査定額	17,290	その他財源の内訳	
市長段階査定額	17,290	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	8,645	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	8,645	
	計	17,290	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】誘致・振興係 0857-20-3225
【1次総の施策体系】2101
【事業の経過及び背景】
SDGsの推進に向けて内閣府が創設した「SDGs未来都市」制度について、本市がこのたび提案した『サステナビリティ×イノベーションで「農村から真の持続可能なまち」を実現する』が優れた内容と認められ、今年度、本市は「SDGs未来都市」に選定された。

【事業の目的及び効果】
SDGs未来都市として目指すゴールへ向けて、市民、企業、団体等の多様なステークホルダーと連携・協働しながら、「生産性の高い次世代農業の育成支援」「新たな電源供給モデルの実用化支援」「新たなワーケーションプログラムの創出支援」など、具体的な施策を進めていく。

【事業の内容】
(新規)SDGs未来都市プロジェクト推進協議会運営経費 9,290千円
経済・社会・環境各側面が有機的に繋がるよう、各ステークホルダーを集めた連絡協議会を設立する。運営のための補助職員を別途配置し、あわせて、Webページ等の作成や、セミナーの開催などにより情報発信を進めていく。
(新規)SDGs意識向上事業支援補助金 2,000千円
鳥取市SDGs未来都市の取組に共感・賛同し、意識向上に繋がる仕組みづくり(啓発用アプリの構築や普及グッズの販売等)の企画・試作経費を支援する。補助率は1/2、補助上限額は1,000千円。
(新規)リサイクル材活用型農業生産拡大事業支援補助金 1,000千円
リサイクル材を活用した効率的な農業生産を進めていくため、農地への実装に係る経費の一部を支援する。補助率は1/2、補助上限額は500千円。
(新規)交流・研修施設整備支援補助金 2,000千円
ワーケーションの参加者がテレワークや地域交流に活用できる交流・研修施設の整備を進めるため、設備投資の経費を支援する。補助率は2/3、補助上限額は1,000千円。
(新規)ワーケーションプログラム開発費 3,000千円
SDGs未来都市の取組を学ぶワーケーションプログラムの開発を委託する経費

経005	項目名	オンライン観光体験ツアー等誘客促進事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	観光宣伝事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名	
		経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	9,741		
総務部長段階査定額	9,741	その他財源の内訳	
市長段階査定額	9,741	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	9,741	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	9,741	
行財政改革課処理欄			

事業の概要

【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292
【1次総の施策体系】2202
【事業の経過及び背景】
長引く新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が低迷する中、アフターコロナを見据えた誘客等の取組を進め、観光産業の復興・再生につなげる必要がある。

【事業の目的及び効果】
DMOや旅行会社等と連携したオンラインによる観光体験ツアーを企画し、本格的な旅行需要の回復の際に、選ばれる旅先となるようファンづくりを進める。
加えて、市内観光地を周遊する割引旅行商品の造成・販売を行い、実際の送客に結びつけ、観光産業の復興・再生を図る。

【事業の内容】
■オンライン観光体験ツアーを通じたプロモーション(1,155千円)
内 容：進行役が現地からの中継や映像等を通じて、オンラインで参加者に観光地や特産品等を紹介し、双方向でコミュニケーションを深める。
・企画造成実施費 770千円
・プロモーション費 385千円
案内先等：鳥取砂丘、砂の美術館、白兔海岸、各温泉地、圏域のグルメ等
参加者数：100人
■旅行商品の造成・販売(8,586千円)
内 容：砂丘やカニなど、人気の高い旅行商品を割安で造成・販売(日帰りツアー1,000人分、個人宿泊旅行100人分)し、観光需要を創出する。
・割引旅行商品造成 6,050千円
・プロモーション費 2,536千円
主な周遊先等：鳥取砂丘、砂の美術館、賀露港、白兔海岸など

経006	項目名	砂の美術館管理運営費	
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	34,704		
要求額	173		
総務部長段階査定額	173	その他財源の内訳	
市長段階査定額	173	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	173	
	計	173	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291 【11次総の施策体系】 2202 【事業の経過及び背景】 建築基準法第12条に基づく市有施設の定期点検で、防火扉・防火シャッターの開閉に不備があることが判明した。 【事業の目的及び効果】 防火扉・防火シャッターの修繕を行い、適正な施設管理を行う。 【事業の内容】 鳥取砂丘砂の美術館 ・ 防火扉の開閉調整 1か所 ・ 防火シャッターのバッテリー交換 1か所			

経007	項目名	河原城管理事業費	
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	20,226		
要求額	2,792		
総務部長段階査定額	2,792	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,792	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,792	
	計	2,792	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291 【11次総の施策体系】 2202 【事業の経過及び背景】 お城山展望台「河原城」の消防用設備等点検結果報告において、設備の不良箇所が見つかり、消防署から早期の是正指示があった。 【事業の目的及び効果】 不備のあった消防設備を更新・修繕し、施設の適正な維持管理を図る。 【事業の内容】 お城山展望台「河原城」 ・ 避難器具の基礎固定部の修繕 6か所 ・ 避難器具収納キャビネットの更新 1台 ・ 斜降式救助袋の更新 1本			

経008	項目名	鳥取市道の駅管理運営費	
予算書項目	観光施設整備事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	13,314		
要求額	7,540		
総務部長段階査定額	7,540	その他財源の内訳	
市長段階査定額	7,540	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	7,540	
	計	7,540	
行財政改革課処理欄 ka			
事業の概要 【問合せ先】観光政策係 0857-30-8291 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 ①建築基準法第12条に基づく市有施設の定期点検で、道の駅清流茶屋かわはらの防火シャッターの開閉に不備があることが判明した。 ②道の駅清流茶屋かわはらの厨房及び飲食スペースの空調設備（GHP室外機）が経年劣化により故障し、業務に支障をきたしている。 【事業の目的及び効果】 ①防火シャッターの修繕を行い、適正な施設管理を行う。 ②空調設備の更新を行い、施設の適正な維持管理を行う。また、空調設備の応急措置として簡易空調（スポットクーラー）を借上げ、円滑な管理運営を行う。 【事業の内容】 道の駅清流茶屋かわはら ・防火シャッターのバッテリー交換 2カ所 (49千円) ・空調設備（GHP6号機）の更新 1式 (7,194千円) ・簡易空調（スポットクーラー）の借上 3台 (297千円)			

経009	項目名	観光産業復興再生支援事業費(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)	
予算書項目	観光産業育成支援事業費	ページ	33
年度	R3	所 属 名 経済観光部 観光・ジオパーク推進課	
会計名	一般会計		
款	商工費		
項	商工費		
目	観光費		
(単位：千円)			
補正前額	0		
要求額	10,000		
総務部長段階査定額	10,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	10,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	10,000	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	0	
	計	10,000	
行財政改革課処理欄			
事業の概要 【問合せ先】観光振興係 0857-30-8292 【11次総の施策体系】2202 【事業の経過及び背景】 新型コロナウイルスの影響を受ける観光産業を下支えするため、昨年度から観光事業者の感染防止対策の取組等を中心に支援を行ってきたが、将来的なコロナからの復興・再生を見据え、観光事業者が行う前向きな投資に対する支援が求められている。 【事業の目的及び効果】 観光資源の掘り起こし・磨き上げや新たな観光コンテンツ等の開発、受入環境の整備など、観光事業者による前向きな投資を支援することで、観光産業の復興・再生を図る。 【事業の内容】 ■観光産業復興再生支援事業補助金 対象事業：観光資源の掘り起こし・磨き上げ、新たな観光コンテンツや商品・メニュー等の開発、HPコンテンツの充実、ICT環境など受入環境の魅力向上につながる施設の改修、誘客促進キャンペーンの開催等 補助率等：補助率4/5（上限額2,000千円×5件）			

経010	項目名	観光施設運営事業費特別会計へ繰出
------	-----	------------------

予算書項目	観光施設運営事業費特別会計へ繰出	ページ	33
-------	------------------	-----	----

所 属 名	経済観光部 観光・ジオパーク推進課
-------	----------------------

年度	R3
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	他会計繰出
目	観光施設運営事業費特別会計へ繰出

(単位：千円)

補正前額	3,623
------	-------

要求額	18,149
-----	--------

総務部長段階査定額	16,753
-----------	--------

市長段階査定額	16,753
---------	--------

区 分		補正額
財 源 内 訳	国・県支出金	15,950
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	803
	計	16,753

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

<p style="text-align: center;">事業の概要</p> <p>【問合せ先】 観光政策係 0857-30-8291</p> <p>【11次総の施策体系】 2202</p> <p>【事業の経過及び背景】</p> <p>①遊漁センター槽かい側の給水設備の不具合による漏水が発生した。 ②建築基準法第12条に基づく市有施設の定期点検で、国民宿舎山紫苑の防火扉の開閉の不備が判明した。 ③新たな旅のスタイルへの対応や宿泊施設を核とした地域観光ビジネスの展開が国によって打ち出される中、経営改善に取り組む山紫苑も、ワーケーションの拠点や県認定の「サイクリストに優しい宿」として、施設の魅力向上のための受入環境整備が求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】</p> <p>施設の適正な維持管理や山紫苑による観光客の新しい受入スタイルの構築を支援するため、観光施設運営事業費特別会計へ繰出しするもの。</p> <p>【事業の内容】</p> <p>①遊漁センターの漏水箇所の修繕 1式 ②山紫苑新館防火扉の開閉調整（3か所）、収納用金具の交換（1か所） ③山紫苑の施設改修 ・ワークスペースの新設 ・バリアフリー風呂の改修 ・脱衣場のトイレの改修</p>
--